



「しあわせぐるり、しこくるり。」観光キャンペーン・瀬戸大橋線開業 30 周年記念

## 「四国の鉄道写真 30 選 フォトコンテスト」入賞作品の決定について



しあわせぐるり、  
しこくるり。

平成 30 年 10 月 29 日

JR四国では、「しあわせぐるり、しこくるり。」観光キャンペーンの開催ならびに瀬戸大橋線開業 30 周年にあわせ、インスタグラムアプリを活用して「四国の鉄道写真 30 選 フォトコンテスト」を開催し、車窓、風景、駅、列車の写真など、JR四国に関連した写真を多くの方からご応募いただきました。この度、審査を行った結果、入賞作品が決定いたしましたのでお知らせいたします。

### 1 募集期間

平成 30 年 5 月 1 日（火）～ 8 月 31 日（金）

### 2 募集部門

- (1) 鉄道からの車窓部門
- (2) 鉄道のある風景部門
- (3) 観光列車部門



### 3 応募状況

- |               |         |
|---------------|---------|
| (1) 鉄道からの車窓部門 | 355 点   |
| (2) 鉄道のある風景部門 | 1,656 点 |
| (3) 観光列車部門    | 432 点   |

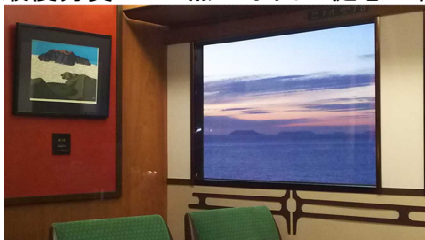
### 4 審査員

- (1) 株式会社おおず街なか再生館 代表取締役専務  
街づくり写真家・観光プロデューサー 河野 達郎 様
- (2) 四国ツーリズム創造機構 事業推進本部長  
山本 和弘 様
- (3) 「四国 4 国立大学と JR 四国との連携協力に関する協定」締結大学  
(香川大学、愛媛大学、徳島大学、高知大学) の学生 各 1 名
- (4) 四国旅客鉄道株式会社 代表取締役社長  
半井 真司

※上記 7 名の審査員により各部門の審査選考を行いました

### 5 審査結果及び選考理由

- (1) 鉄道からの車窓部門  
ア 最優秀賞：1 点 小山 健志 様（埼玉県）



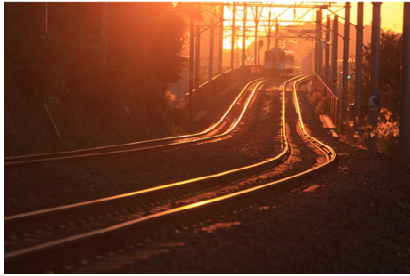
【審査員コメント】

- 撮影者の着眼点が素晴らしいです。額縁写真で作品を作る場合の素晴らしい先例になりました。  
(審査員：河野 達郎 様)
- 窓を額縁、景色を絵画と捉え、車内から撮影するというアイデアにまず驚かされた。また、車内に本物の絵画が1点あり、現実と絵の対比という点でも非常に面白い作品です。窓の風景も、「伊予灘ものがたり」から見える瀬戸内海の穏やかな夕暮れも旅情を誘う。  
(審査員：山本 和弘 様)
- 窓枠を額縁に見立て、車内からの風景を絵画のように表現している斬新な発想に驚かされた。車内に展示されている絵画を写し込むことで、より一層車窓が強調され、印象的な作品に仕上がっている。  
(審査員：半井 真司)

イ 優秀賞：9点 岸 孝昭 様(徳島県) 秋田 祥冴 様(兵庫県)  
川田 英登 様(愛媛県) moo81516 様(香川県)  
片岡 歩 様(神奈川県) 氏家 輝美 様(香川県)  
原田 雅章 様(岡山県) 野口 美佳 様(徳島県)  
上野 登志 様(愛媛県)

(2) 鉄道のある風景部門

ア 最優秀賞：1点 木村 明 様(香川県)



【審査員コメント】

- 走り去っていく列車の後ろ姿を、尾を引くようなレールを残すことで見事に表現しています。旅情満点の素晴らしい作品でした。  
(審査員：河野 達郎 様)
- 電車が夕日に向かって走っていく様子が郷愁を誘う。乗っている人々は仕事帰りで、それぞれの暖かい家庭までも想像させる。夕日に輝く線路がそれぞれの幸せを、明日もまた明後日もと永遠に続くことを祈らせる作品です。  
(審査員：山本 和弘 様)
- 夕暮れの中を疾走する電車の印象的なシーンを切り取っている。被写体は毎日走っている電車であり、普段の生活では見過ごしがちな風景に着目し、改めて日常の中にも素晴らしい風景があることに気づかされた。  
(審査員：半井 真司)

イ 優秀賞：9点 横矢 吏示 様(愛媛県) 西本 頼弘 様(愛媛県・2点受賞)  
川田 幸輝 様(香川県) 善家 学 様(愛媛県・2点受賞)  
中川 浩司 様(香川県) 菅野 好昭 様(愛媛県)  
橘 晋平 様(石川県)

(3) 観光列車部門

ア 最優秀賞：1点 見崎 直樹 様（愛媛県）



【審査員コメント】

- キハ47への想いが伝わってくるような素晴らしい作品です。数ある伊予灘ものがたりの投稿写真の中にあっても埋もれることなく存在感を醸し出していました。  
（審査員：河野 達郎 様）
- 「伊予灘ものがたり」は、海岸線という言わば華やかな場面ばかりではなく、このような山の中の急こう配の辛い箇所もあり、白い息を吐きながら一生懸命に走っていきます。山あり谷ありの人生を考えさせられる作品です。  
（審査員：山本 和弘 様）
- 「伊予灘ものがたり」は、穏やかな伊予灘沿いをメインに走るが、道中では山間部も走る。あえて海沿いでは無く、力強く走っているシーンを切り取っており、新たな「伊予灘ものがたり」の魅力を引き出している。  
（審査員：半井 真司）

イ 優秀賞：9点 山崎 遥大 様（愛媛県・3点受賞） 船津 慎一 様（愛媛県）  
豊田 貴史 様（高知県） 原田 泰人 様（香川県）  
矢野 清治 様（愛媛県） 鶴 弥碧 様（香川県）  
十川 明 様（香川県）

6 今後の予定

入賞作品は12月末頃までJR四国ホームページにて紹介するとともに、JRニュース12月号にも掲載する予定です。